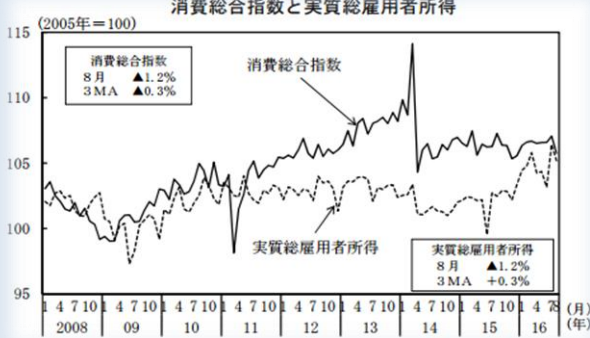
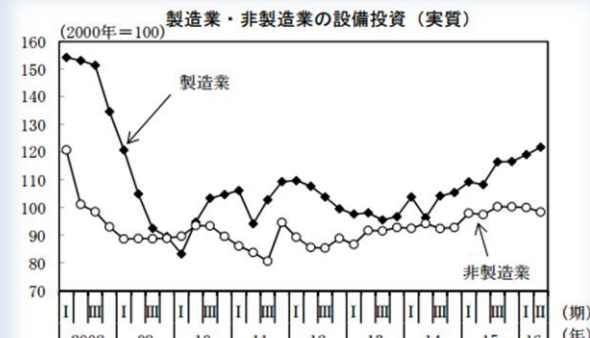
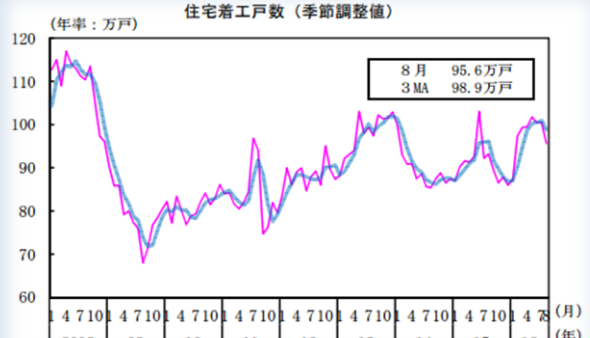
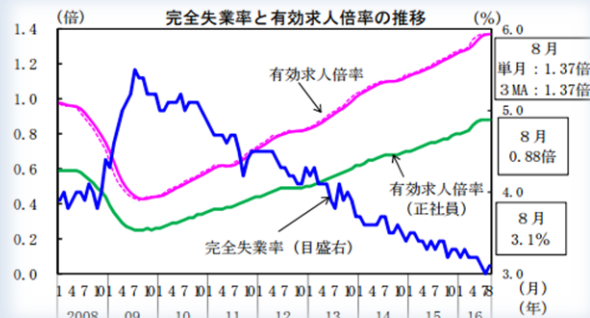


| 今月の経済動向（平成28年10月）

● 月例経済報告

基調判断	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。		
個人消費	総じてみれば底堅い動きとなっている。	消費総合指数と実質総雇用者所得 (2005年=100)  消費総合指数 8月 ▲1.2% 3MA ▲0.3% 実質総雇用者所得 8月 ▲1.2% 3MA +0.3% (月) 2008 4 7 10 09 4 7 10 10 4 7 10 11 4 7 10 12 4 7 10 13 4 7 10 14 4 7 10 15 4 7 10 16 (年)	
設備投資	持ち直しの動きに足踏みがみられる。	製造業・非製造業の設備投資（実質） (2000年=100)  製造業 非製造業 (期) 2008 I II III IV 09 I II III IV 10 I II III IV 11 I II III IV 12 I II III IV 13 I II III IV 14 I II III IV 15 I II III IV 16 (年) (備考) 1. 財務省「法人企業統計季報」、内閣府「国民経済計算」により作成。 2. 実質値は、Q E設備投資デフレーターによる試算値。	
住宅建設	このところ横ばいとなっている。	住宅着工戸数（季節調整値） (年率：万戸)  8月 95.6万戸 3MA 98.9万戸 (月) 2008 4 7 10 09 4 7 10 10 4 7 10 11 4 7 10 12 4 7 10 13 4 7 10 14 4 7 10 15 4 7 10 16 (年)	
雇用	改善している。	完全失業率と有効求人倍率の推移 (倍) (%)  有効求人倍率 有効求人倍率（正社員） 完全失業率（目盛右） 8月 単月：1.37倍 3MA：1.37倍 5.0 8月 0.88倍 8月 3.1% 3.0 (月) 2008 4 7 10 09 4 7 10 10 4 7 10 11 4 7 10 12 4 7 10 13 4 7 10 14 4 7 10 15 4 7 10 16 (年)	

[月例経済報告：内閣府](#)

生産	持ち直しの動きがみられる。																
輸出	おおむね横ばいとなっている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>8月</th> <th>3MA</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アメリカ</td> <td>▲12.4%</td> <td>▲2.7%</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>▲1.8%</td> <td>▲1.0%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>▲0.6%</td> <td>▲0.5%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>▲0.1%</td> <td>▲0.1%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	8月	3MA	アメリカ	▲12.4%	▲2.7%	EU	▲1.8%	▲1.0%	全体	▲0.6%	▲0.5%	アジア	▲0.1%	▲0.1%
地域	8月	3MA															
アメリカ	▲12.4%	▲2.7%															
EU	▲1.8%	▲1.0%															
全体	▲0.6%	▲0.5%															
アジア	▲0.1%	▲0.1%															
国内企業物価	このところ下落テンポが鈍化している。																
消費者物価	横ばいとなっている。																
海外経済	弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。																

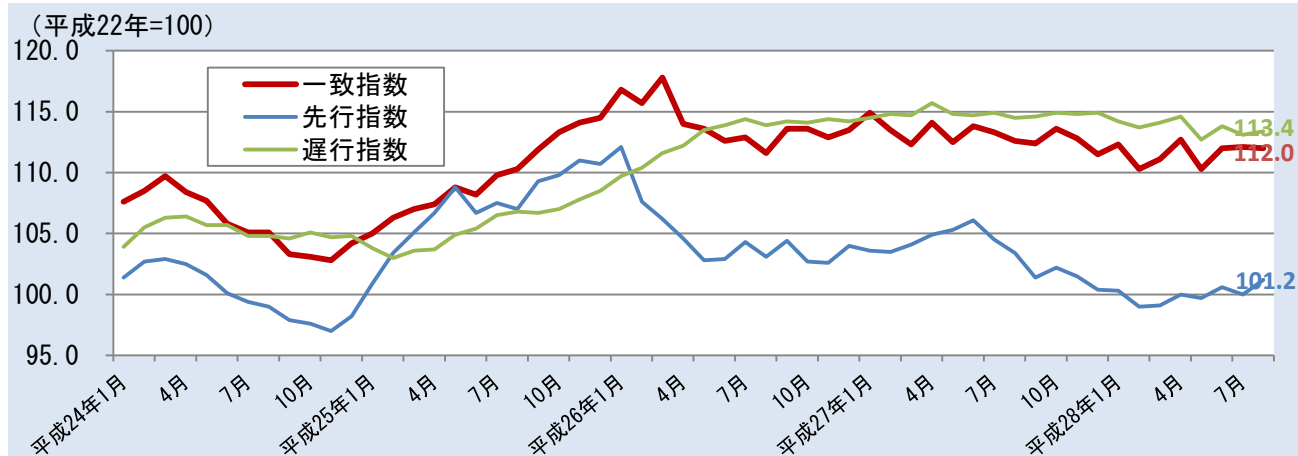
[月例経済報告：内閣府](#)

● 景気動向指数（平成28年8月）

平成28年8月のCI一致指数は前月より0.1ポイント低い112.0ポイントとなった。CI先行指数は前月より1.2ポイント高い101.2ポイント、遅行指数は前月より0.3ポイント高い113.4ポイントとなった。

景気の基調判断(CI一致指数)は、「足踏みを示している」を据え置いた。

・CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)